

AXXE-L by XTREME-D の新機能「AI Gateway」を 一足先に体験できるキャンペーンを開始 —レノボ製サーバーにプリインストールして販売—

エクストリーム-D 株式会社

2020年10月1日

エクストリーム-D 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：柴田直樹、以下 エクストリーム-D）は、本日、同社の戦略パートナーであるレノボ・エンタープライズ・ソリューションズ合同会社（本社：東京都千代田区、以下 レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ）と連携し、エクストリーム-D が提供するスーパーコンピューター共有プラットフォーム「AXXE-L by XTREME-D（以下、AXXE-L）」向けに開発中の「AI Gateway」をレノボ製サーバーにバンドルして販売するキャンペーンを実施することを発表しました。

AI で必要となるワークフローには学習と推論があります。このうち、学習工程に関しては、試行錯誤をしながら、ディープニューラルネットワーク (DNN) を構築します。ディープニューラルネットワーク構築の初期工程では、さまざまな試行錯誤が必要となり、ローカル環境で行うのが便利です。しかし、ディープニューラルネットワークの構築がある程度進み、パラメーターの最適化や大規模なトレーニングが必要になると、ローカル環境で実行するのは現実的ではなく、外部の計算環境を利用するのが得策です。AXXE-L の新機能となる「AI Gateway」により、実行する作業内容、データ分析・解析の規模に応じて、ローカル環境、外部の計算環境を使い分けるなど柔軟な対応が可能となります。

「AI Gateway」を利用する際に必要となるのはウェブブラウザのみです。ブラウザ操作だけで、Docker Hub や NVIDIA が提供している深層学習、機械学習、HPC など GPU に最適化されたソフトウェアハブである NVIDIA[®] NGC[™]から Docker イメージをローカル環境にダウンロードすることができます。また、大規模分散学習をパブリッククラウドなど外部の計算環境で行う際は、Docker イメージを Singularity イメージへ自動的に変換し、数クリックでクラウドでの学習を実行することができます。これにより、Docker が苦手とする MPI 並列処理を Singularity で解決することができます。「AI Gateway」を使えば、Docker コマンドも Singularity コマンドも覚える必要はありませんし、クラウドバースティングの仕組みに悩むこともありません。

エクストリーム-D の販売パートナーである株式会社アスクが「AI Gateway」がプリインストールされたレノボ製サーバーThinkSystem SE350 を販売いたします。この ThinkSystem SE350 には、



世界最先端の推論アクセラレーターである NVIDIA® T4 GPU が搭載されます。株式会社アスク エンタープライズ営業部部長鈴木雄一様は、今回のキャンペーンについて、「弊社でエクストリーム-D が開発中の「AI Gateway」をプリインストールしたレノボ ThinkSystem SE350 を販売できることを大変うれしく思います。今回のキャンペーンを通して、より多くのお客様に AI に興味をお持ちいただければと考えております」と述べています。

AXXE-L の「AI Gateway」機能は、今回のレノボ製サーバーに搭載される NVIDIA T4 GPU をはじめ、大規模なエンタープライズ AI インフラストラクチャ向けの NVIDIA® DGX™システムでも実行が可能となるもので、このキャンペーンを機に、NVIDIA とエクストリーム-D のソリューションの連携がより一層強化されるものと考えています。エヌビディア合同会社のエンタープライズ事業本部事業本部長の井崎武士様は「NVIDIA は、エクストリーム-D 様による「AI Gateway」の開発とリリースを心待ちにしています。「AI Gateway」によって、企業の AI の導入がより身近なものになっていくとともに、NVIDIA 製品のフロントエンドの役割を担ってくれるものと期待しています」と述べています。

なお、レノボ製サーバーにプリインストールされる「AI Gateway」は、コミュニティ版として提供される予定のものです。また、「AI Gateway」の使い勝手を体感いただくために提供される開発途上のもので、ローカル環境での作業のみに対応したものになります。一方、エクストリーム-D では「AI Gateway」エンタープライズ版の開発を進めており、学習作業を AXXE-L サービス用に用意されている弊社のインフラストラクチャー、パブリッククラウドなど外部の計算環境での実行をサポートする予定です。これにより AXXE-L がより一層高性能なデータ分析プラットフォームとなっていくことが期待されています。

エクストリーム-D は、今後も HPC の普及を目的に、サービス開発や、企業連携、キャンペーン企画など様々な取組みを行い、多くの方に HPC 環境を活用いただける機会を提供できるよう尽力してまいります。

AXXE-L by XTREME-D について

AXXE-L は、誰でも簡単に数値計算、データ分析/解析などの HPC ジョブを行えるようエクストリーム-D が開発したスーパーコンピューター共有プラットフォームです。HPC に必要なインフラストラクチャーを弊社で管理するデータセンターに設置しており、必要な時に、必要なだけ、最新鋭のサーバー製品で構築されたスーパーコンピューターを使って、HPC ジョブを実行していただくことが可能になります。また、AXXE-L は最新の開発環境、ミドルウェアを搭載し、最新の CPU、GPU およ

び相互接続オプションを備えています。人工知能、機械学習・深層学習をはじめとするデータサイエンス分野、製造分野における数値計算など多岐に渡る応用が可能です。

エクストリーム-D 株式会社について

2015 年設立。HPC クラウドコンピューティングへのアクセスを簡単、高速、効率的、経済的にすることを目標に設立され、本社は東京都品川区に、米国子会社 (XTREME-D AMERICA Inc.) を米国カリフォルニアに置いています。日本発のクラウドスーパーコンピューティング関連のスタートアップとして、ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) およびクラウド技術で 20 年近くの経験を持つ主要メンバーで構成されています。物理マシンによるスーパーコンピューター共有サービス AXXE-L by XTREME-D は、誰でも HPC リソースを利用できるようにし、堅牢な UI / UX およびクラウド管理機能により使いやすいカスタマーエクスペリエンスを提供します。詳細については、<https://xtreme-d.net> をご覧ください。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、エクストリーム-D株式会社の登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

本件に関する報道関係問い合わせ先

エクストリーム-D : pr@xtreme-d.net